

第5次幸手市総合振興計画後期基本計画策定のための  
市民意識調査

結果報告書  
(概要版)

平成25年3月

幸 手 市



# 目次

<b>第1章 調査の目的と概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的.....	2
2 調査の概要と回収状況.....	2
3 報告書を見る際の注意事項.....	2
<b>第2章 調査結果</b> .....	<b>3</b>
1 結果概要.....	4
2 結果詳細.....	6



# 第 1 章 調査の目的と概要

---

# 1 調査の目的

- 本調査は、第5次幸手市総合振興計画後期基本計画の策定にあたり、市民の皆様の貴重なご意見を反映させるために実施しました。

## 2 調査の概要と回収状況

### 【調査の概要等】

調査対象	18歳以上の市民 2,000人
対象者の抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出
回収数	940人
回収率	47.0%
調査方法	郵送配布・回収
調査期間	平成24年12月3日～12月21日

## 3 報告書を見る際の注意事項

- 図表中の「N」（=Number）は、設問への回答者数を示しています。
- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示しています。したがって、回答者比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがあります。また、複数回答のクロス集計の場合には、縦と横の合計は「回答者数」を示し、パーセントの母数を示しています。そのため、数字を足しあげた数とは一致しません。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。
- クロス分析において、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合もあります。また、1位を白文字、2位を太文字で表現していますが、1位が複数ある場合には、2位の表記は行っていません。
- 見出しについては、「その他」「無回答」を除いた上での「1位」についてコメントをしています。

## 第 2 章 調査結果

---

# 1 結果概要

## (1) 幸手市の住みやすさについて

- ・幸手市の住みやすさは、「どちらかといえば住みよい」が 45.5%と最も多くなっています。20 歳代と 30 歳代では「住みよい」「どちらかといえば住みよい」への回答割合は 60~62%と多く、低い年代では「住みやすさ」について評価しています。
- ・住みよい理由としては、「住み慣れているから」が 74.5%と最も多く、住みにくい理由は「道路・下水道などの都市基盤が整っていないから」が 52.8%と最も多くなっています。

## (2) 定住意向について

- ・今後の定住意向は、「永住したい」が 35.0%と最も多く、「当分は住み続けたい」が 33.6%となっています。
- ・住み続けたい理由としては、「市内に土地を所有しているから」が 70.9%と最も多く、転出したい理由では「老後の暮らしに不安があるから」が 46.2%と最も多くなっています。

## (3) 地域での活動について

- ・地域での活動については、「特に参加していない」が 54.3%と最も多くなっており、特に 20 歳代では 85.7%と多くなっています。また、地域での活動に参加したいかについては、「求められれば参加する」が 34.7%となっていますが、30 歳代では「参加したいが、時間や暇がない」、10~20 歳代では「関心がない」が最も多く、世代によって差があることが読み取れます。

## (4) 市の施策について

- ・他の自治体と比較して優れている点は、「自然災害が少ない」が 35.2%と最も多く、劣っている点は「市が財政難である」が 45.5%と最も多くなっています。
- ・行政施策の満足度（満足+どちらかといえば満足の合計値）については、「ごみ・し尿処理」が 48.7%と最も多くなっています。また、重要度（重要+どちらかといえば重要の合計値）については、「医療施設・医療体制」が 85.1%と最も多くなっています。

## (5) 災害時の対応について

- ・災害が発生した場合の連絡方法や集合場所等については、「ある程度は決めているが、不十分だと思う」が44.1%と最も多くなっています。また、災害時要援護者の有無については、「いる」「時間帯によってはいる」の合計値が2割を超えており、特に権現堂川地区では36.7%と多くなっています。
- ・災害時に要援護者の避難を手伝ってくれる人がいるかどうかについては、2割が「いない」と回答しています。

## (6) 行財政運営について

- ・行財政運営の改善に向けては、「事業の取捨選択を進め、事業の重点化を図る」が33.0%と最も多くなっています。また、市民の負担と行政サービスとの関連については、「現状維持でよい」が34.9%と最も多くなっています。
- ・行政へ市民が参加することについては、「市民の負担にならない参画機会を増やすべき」が48.5%と最も多くなっており、市民会議やタウンミーティングについては、「参加はしたいが、現状では時間がなく困難」が36.1%と最も多く、割合としては50歳代が46.2%と最も多くなっています。
- ・重点的に取り組むべき施策は、「幸手駅周辺の開発」が36.6%と最も多く、次いで「地域医療体制の充実」が34.1%となっています。

## 2 結果詳細

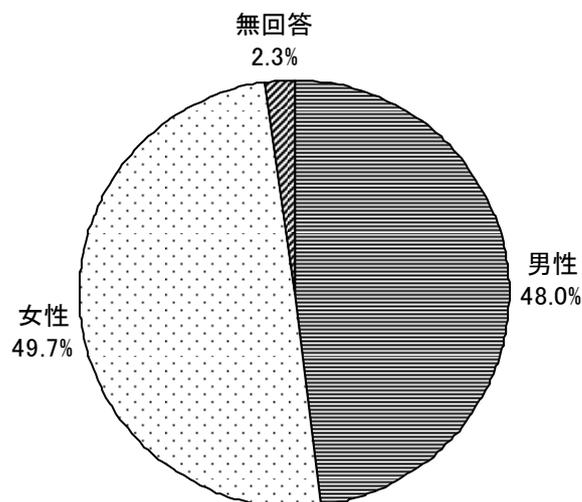
### (1) あなたのことについて、おたずねします

問1 あなたの性別は、どちらですか。(1つに〇)

「女性」が49.7%と多い

性別では、「女性」が49.7%と多く、「男性」が48.0%となっています。

【全体】



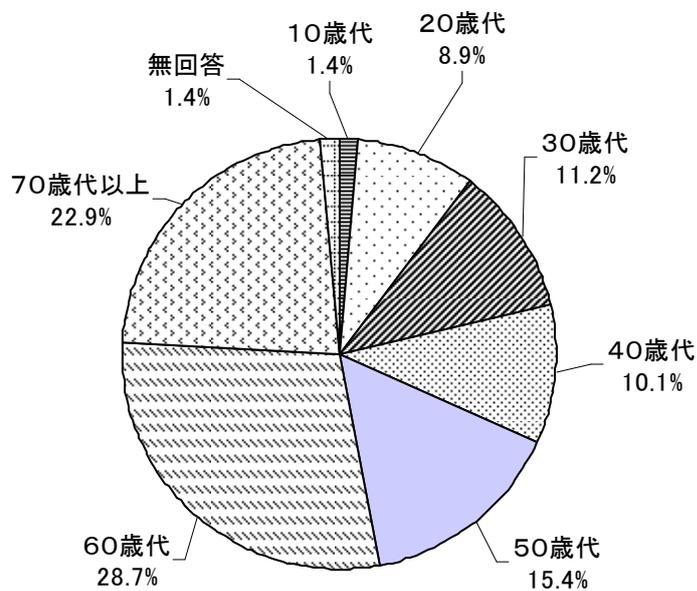
(N=940)

問2 あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。  
(平成24年12月1日現在の年齢をお答えください。)(1つに〇)

「60歳代」が28.7%と多い

年齢では、「60歳代」が28.7%と最も多く、次いで「70歳代以上」が22.9%、「50歳代」が15.4%となっています。

【全体】



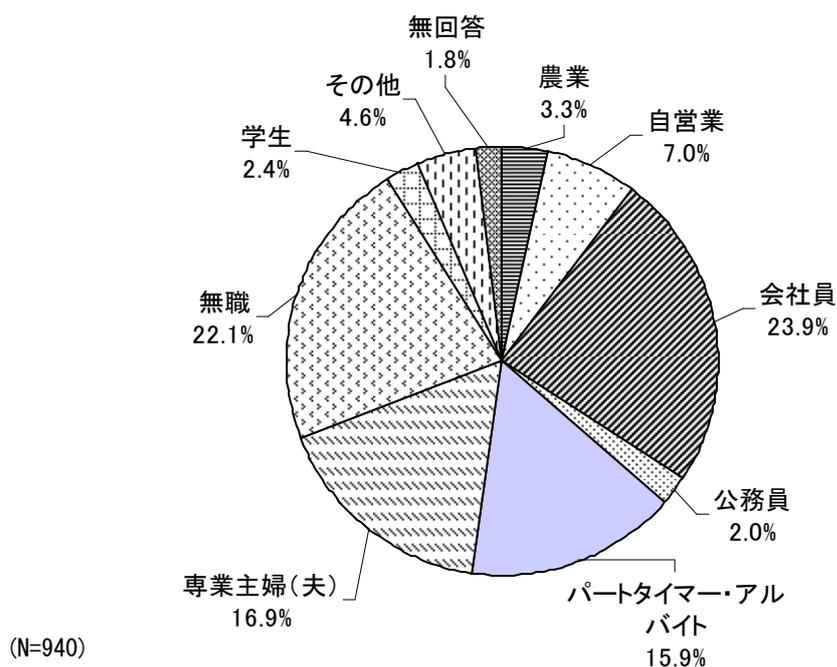
(N=940)

問3 あなたの就業形態は、次のどれに該当しますか。(1つに○)

「会社員」が23.9%と多い

就業形態では、「会社員」が23.9%と最も多く、次いで「無職」が22.1%、「専業主婦(夫)」が16.9%となっています。

【全体】

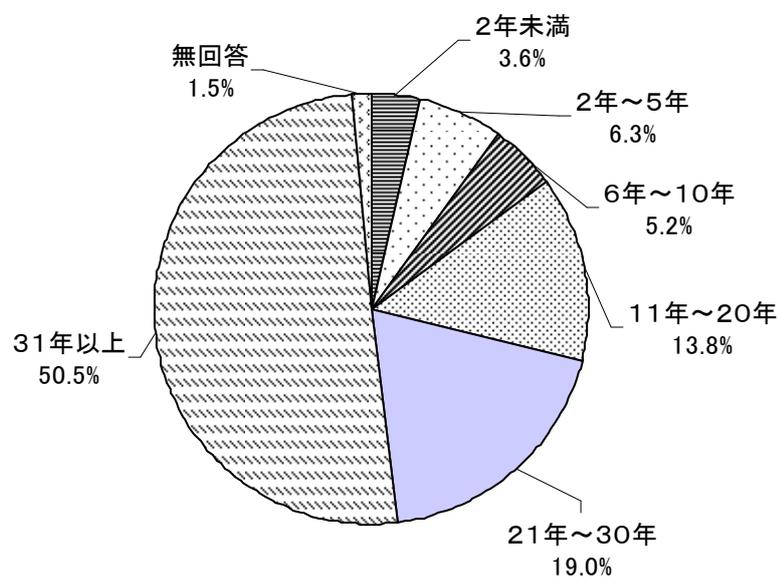


問4 幸手市内に通算して何年ぐらいお住まいですか。(1つに○)  
(市内で転居している方は、幸手市での居住年数を合算してください。)

「31年以上」が50.5%と多い

居住年数では、「31年以上」が50.5%と最も多く、次いで「21年～30年」が19.0%、「11年～20年」が13.8%となっています。

【全体】



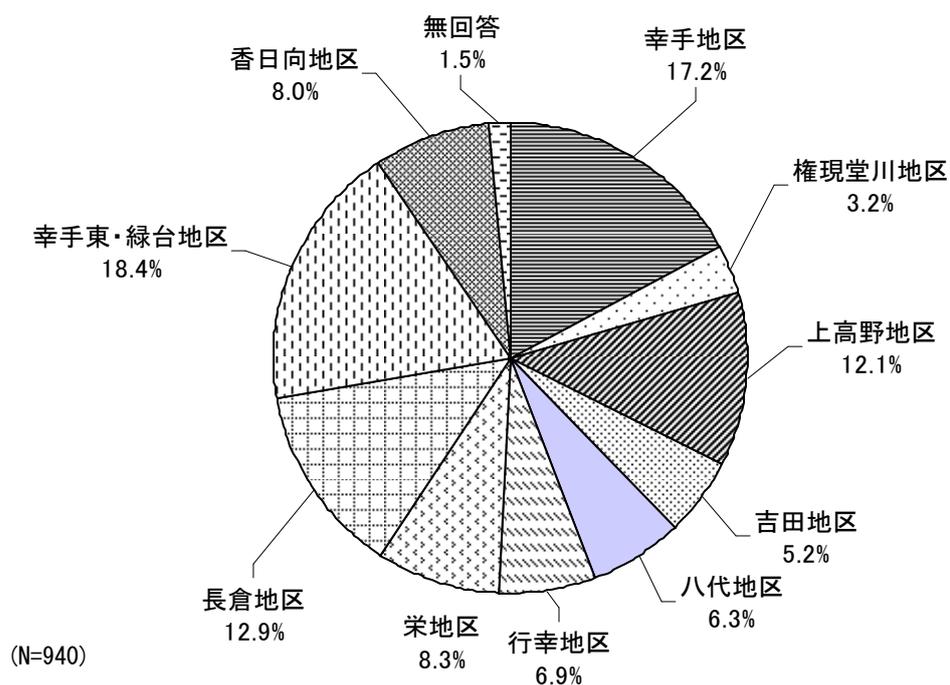
(N=940)

問5 お住まいの地区は、どちらですか。(地区名の1つに○)

「幸手東・緑台地区」が18.4%と多い

地区では、「幸手東・緑台地区」が18.4%と最も多く、次いで「幸手地区」が17.2%、「長倉地区」が12.9%となっています。

【全体】

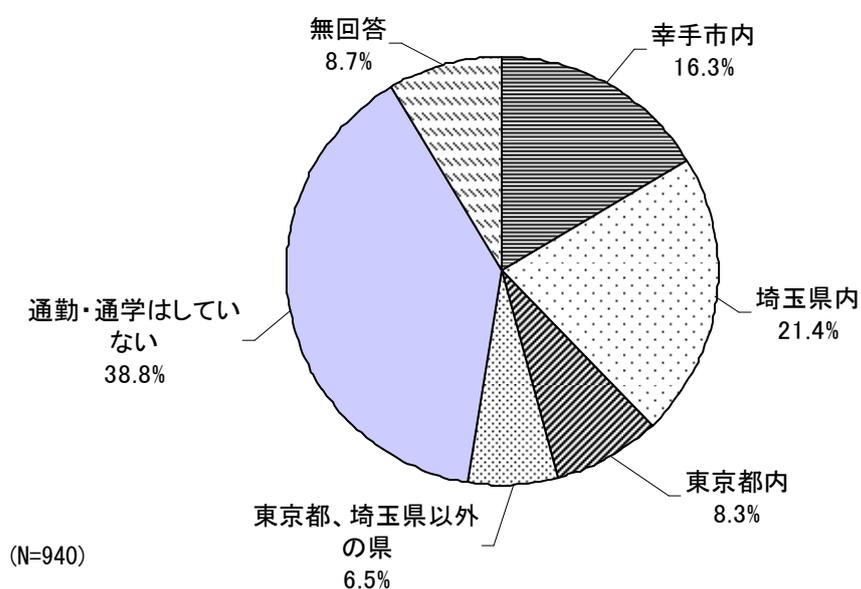


問6 通勤、通学先は、次のどれに該当しますか。(1つに○)

「通勤・通学はしていない」が38.8%と多い

通勤・通学先では、「通勤・通学はしていない」が38.8%と最も多く、次いで「埼玉県内」が21.4%、「幸手市内」が16.3%となっています。

【全体】



## (2) 幸手市の住みやすさについて、おたずねします

問7 幸手市は住みやすいと思いますか。(1つに〇)

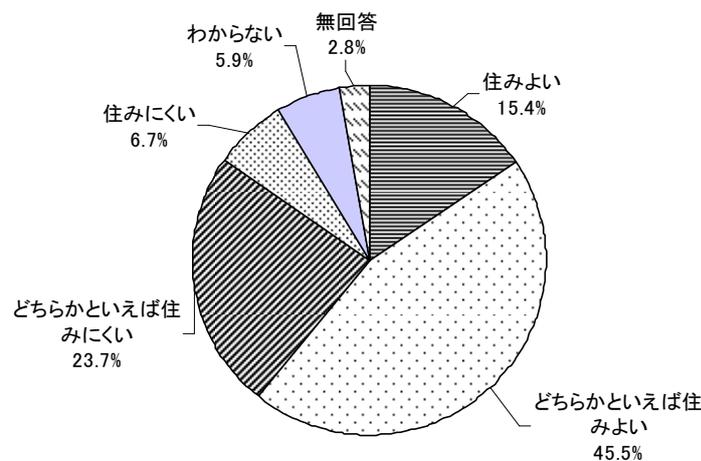
「どちらかといえば住みよい」が45.5%と多い

「どちらかといえば住みよい」が45.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば住みにくい」が23.7%、「住みよい」が15.4%となっています。

年齢別を見ると、40歳代を除き、「住みよい」と回答した人の割合が10%を上回っています。

地区別を見ると、いずれの居住地においても、「どちらかといえば住みよい」と回答した人が最も多くなっていますが、香日向地区や権現堂川地区では、「住みよい」と回答した人の割合がそれ以外の地区と比較してやや少ないのが特徴です。

### 【全体】



(N=940)

問8 問7で「1」「2」に回答した方におたずねします。  
 「住みよい」と考える理由は何ですか。(3つまで○)

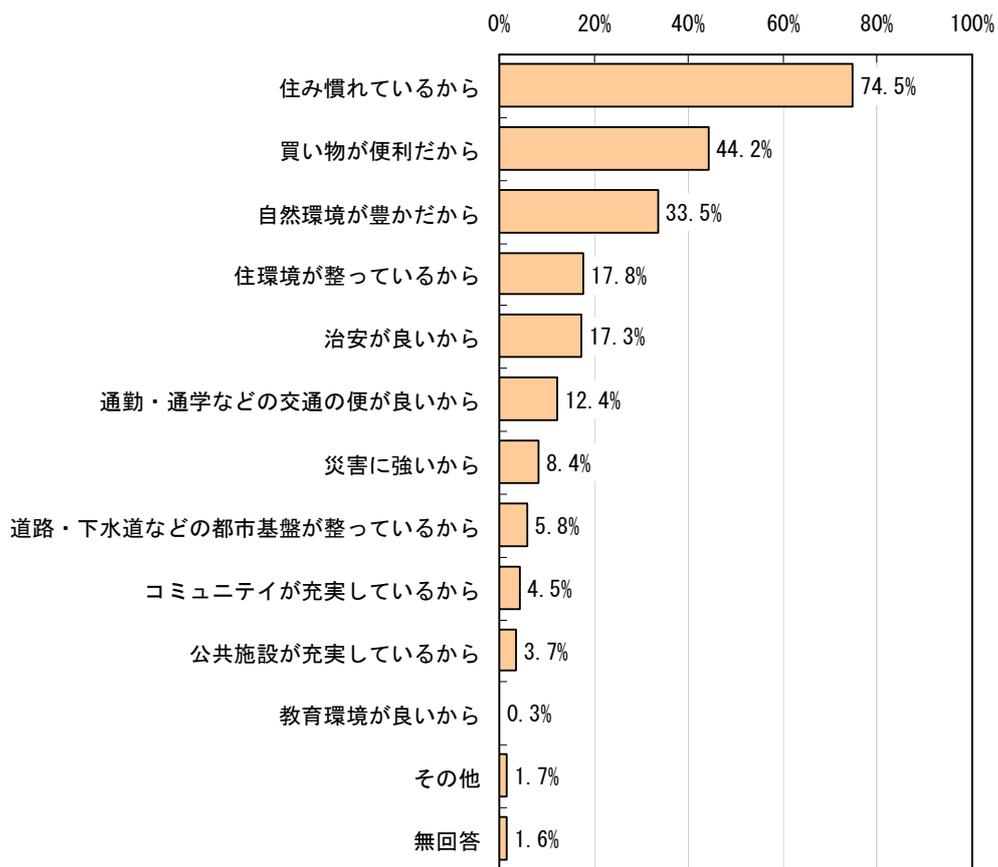
「住み慣れているから」が74.5%と多い

「住み慣れているから」が74.5%と最も多く、次いで「買い物が便利だから」が44.2%、「自然環境が豊かだから」が33.5%となっています。

年齢別を見ると、10歳代が「住み慣れているから」と回答した人の割合が最も多くなっています。

地区別を見ると、上高野地区では「買い物が便利だから」、香日向地区では「住環境が整っているから」、それ以外の地区では「住み慣れているから」と回答した人の割合が最も多くなっています。

【全体】



(N=573)

問9 問7で「3」「4」に回答した方におたずねします。  
 「住みにくい」と考える理由は何ですか。(3つまで○)

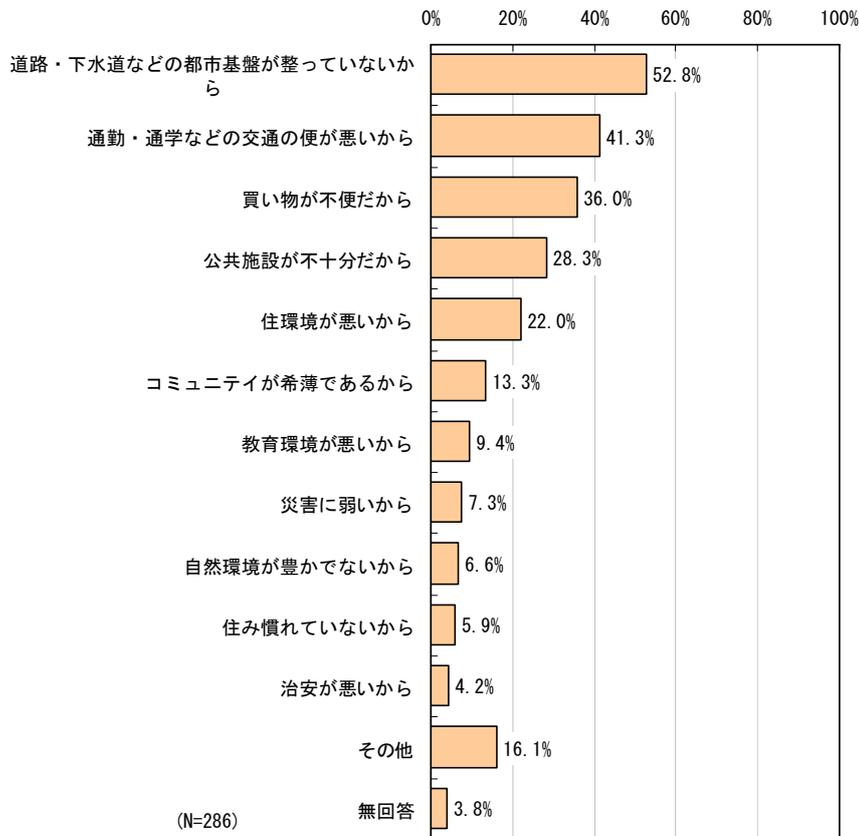
「道路・下水道などの都市基盤が整っていない」からが 52.8%と多い

「道路・下水道などの都市基盤が整っていないから」が 52.8%と最も多く、次いで「通勤・通学などの交通の便が悪いから」が 41.3%、「買い物が不便だから」が 36.0%となっています。

年齢別を見ると、30歳以上の年代では、「道路・下水道などの都市基盤が整っていないから」が最も多くなっています。(40歳代では、「通勤・通学などの交通の便が悪いから」も同率1位)

地区別を見ると、「買い物が不便だから」「通勤・通学などの交通の便が悪いから」「道路・下水道などの都市基盤が整っていないから」「公共施設が不十分だから」の4項目に最も多い回答が分散しています。

【全体】



### (3) 定住意向について、おたずねします

問 10 今後も幸手市に住み続けたいと思いますか。(1つに〇)

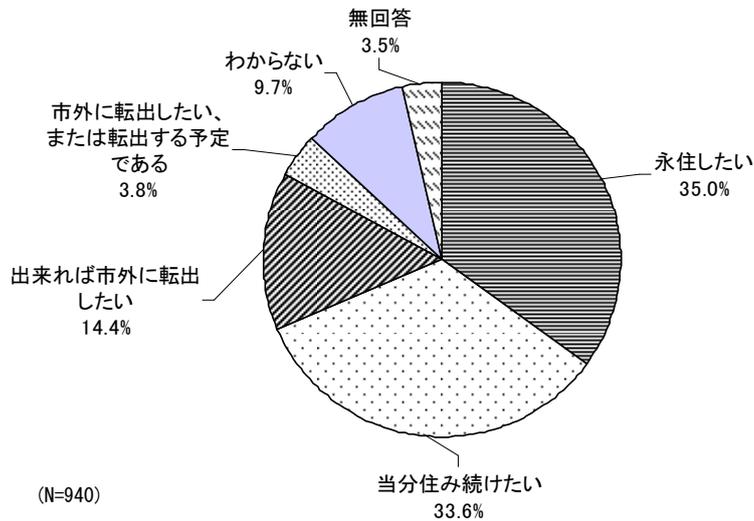
「永住したい」が 35.0%と多い

「永住したい」が 35.0%と最も多く、次いで「当分住み続けたい」が 33.6%、「出来れば市外に転出したい」が 14.4%となっています。

年齢別を見ると、低い年代では「永住したい」又は「当分住み続けたい」と回答した人の割合も少なくなっています。

地区別を見ると、幸手地区、上高野地区、栄地区及び香日向地区では「当分住み続けたい」、それ以外の地区では「永住したい」が最も多くなっています。

#### 【全体】



問 11 問 10 で「1」「2」に回答した方におたずねします。  
「住み続けたい」と思う理由は何ですか。(3つまで○)

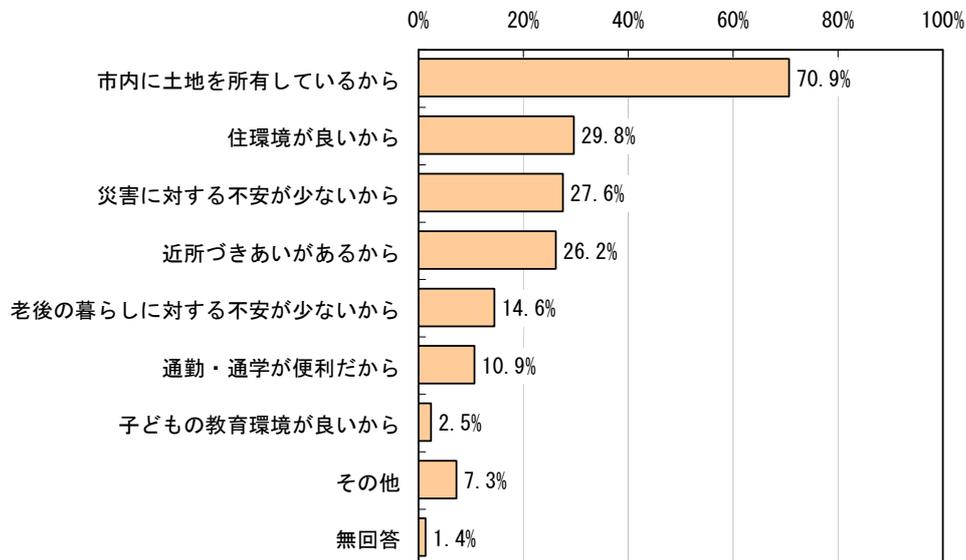
「市内に土地を所有しているから」が 70.9%と多い

「市内に土地を所有しているから」が 70.9%と最も多く、次いで「住環境が良いから」が 29.8%、「災害に対する不安が少ないから」が 27.6%となっています。

年齢別を見ると、特に 30 歳代以上の年代では6割以上が「市内に土地を所有しているから」となっています。

地区別を見ると、栄地区では「住環境が良いから」が最も多く、それ以外の地区では「市内に土地を所有しているから」が最も多くなっています。

【全体】



(N=645)

問 12 問 10 で「3」「4」に回答した方におたずねします。

「転出したい」または「転出する予定である」理由は何ですか。(3つまで○)

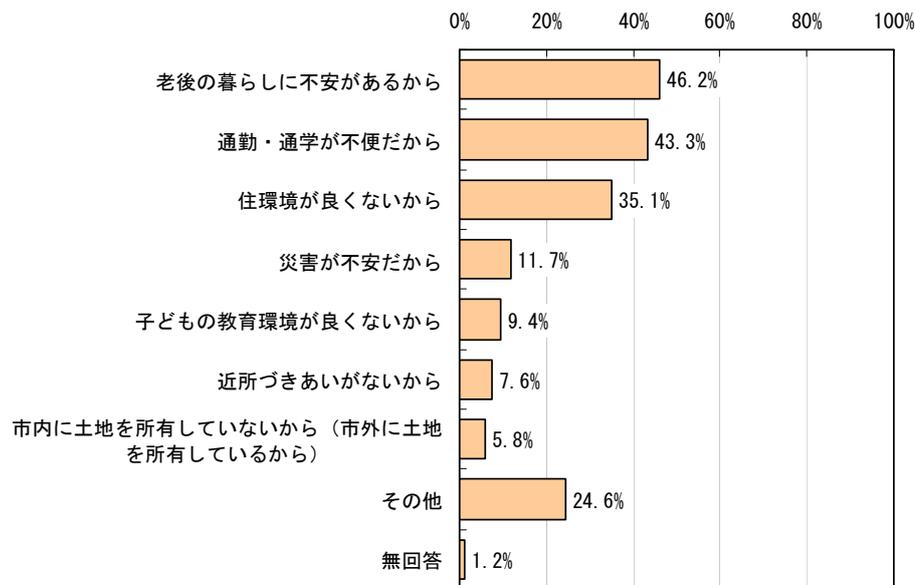
「老後の暮らしに不安があるから」が 46.2%と多い

「老後の暮らしに不安があるから」が 46.2%と最も多く、次いで「通勤・通学が不便だから」が 43.3%、「住環境が良くないから」が 35.1%となっています。

年齢別を見ると、10 歳代から 40 歳代では「通勤・通学が不便だから」という理由が最も多くなっていますが、(40 歳代では「住環境が良くないから」も同率 1 位)、それ以外の年代では「老後の暮らしに不安があるから」となっています。

地区別を見ると、幸手地区、八代地区及び香日向地区では「老後の暮らしに不安があるから」、上高野地区及び行幸地区では「住環境が良くないから」、それ以外の地区では「通勤・通学が不便だから」が最も多くなっています。

【全体】



(N=171)

#### (4) 地域での活動について、おたずねします

問 13 あなたは、地域の活動に参加していますか。(あてはまるもの全てに○)

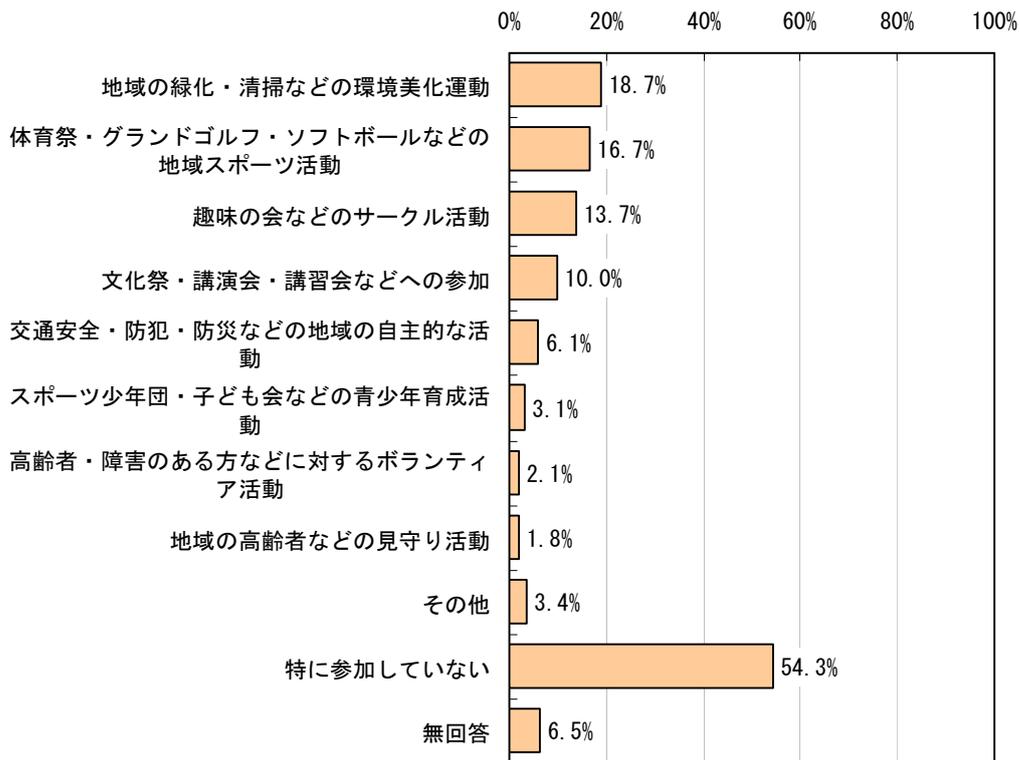
「特に参加していない」が 54.3%と多い

「特に参加していない」が 54.3%と最も多く、次いで「地域の緑化・清掃などの環境美化運動」が 18.7%、「体育祭・グランドゴルフ・ソフトボールなどの地域スポーツ活動」が 16.7%となっています。

年齢別を見ると、特に 20 歳代では8割以上が「特に参加していない」となっています。

地区別を見ると、いずれも「特に参加していない」が最も多くなっています。

#### 【全体】



(N=940)

問 14 あなたは、市や地域の活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

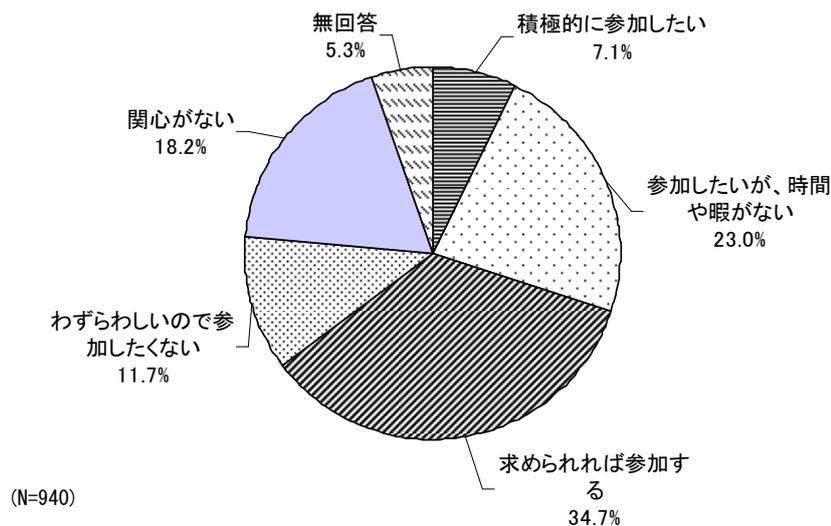
「求められれば参加する」が 34.7%と多い

「求められれば参加する」が 34.7%と最も多く、次いで「参加したいが、時間や暇がない」が 23.0%、「関心がない」が 18.2%となっています。

年齢別を見ると、10歳代及び20歳代では「関心がない」、30歳代では「参加したいが、時間や暇がない」、それ以外の年代では「求められれば参加する」が最も多くなっています。

地区別を見ると、上高野地区及び吉田地区では「参加したいが、時間や暇がない」、それ以外の地区では「求められれば参加する」が最も多くなっています。

【全体】



(5) 市の施策について、おたずねします

問 15 幸手市が他の自治体と比較して優れていると思う点は何ですか。(3つまで〇)

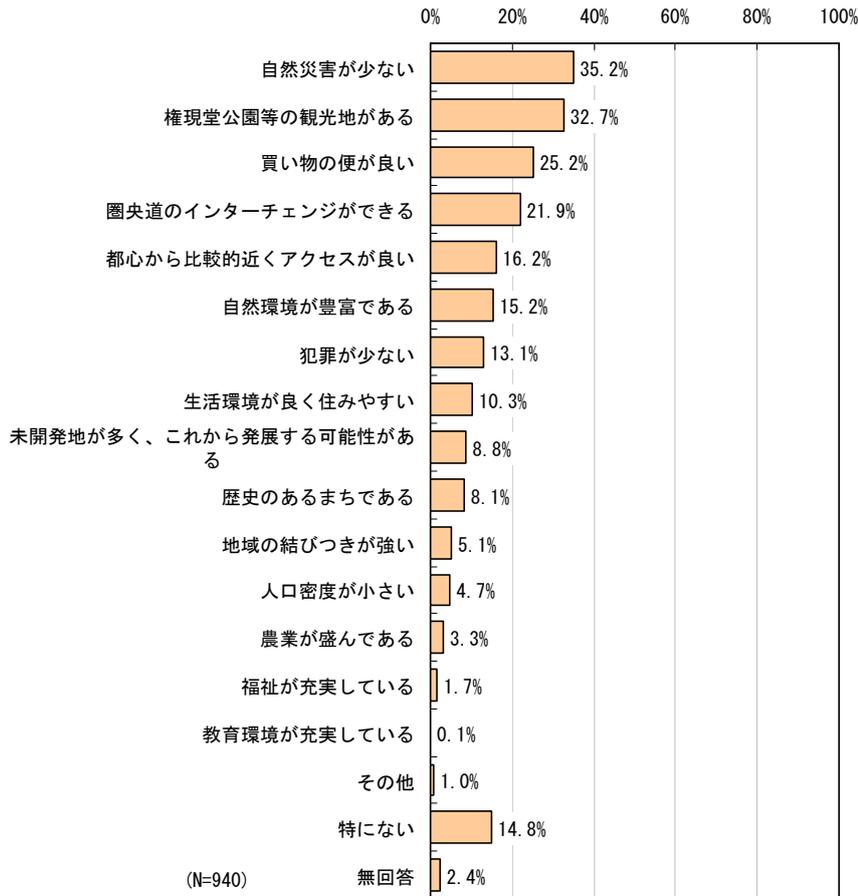
「自然災害が少ない」が 35.2%と多い

「自然災害が少ない」が 35.2%と最も多く、次いで「権現堂公園等の観光地がある」が 32.7%、「買い物の便が良い」が 25.2%となっています。

年齢別を見ると、回答が最も多いのは、年代によって異なりますが、20 歳代、30 歳代及び 50 歳代では「権現堂公園等の観光地がある」、60 歳代以上では「自然災害が少ない」になっていることが特徴です。

地区別を見ると、地域によって異なりますが、上高野地区、栄地区及び幸手東・緑台地区では「買い物の便が良い」が最も多くなっていることが特徴です。

【全体】



問 16 幸手市が他の自治体と比較して劣っている（マイナスポイントとなる）と思う点は何ですか。（3つまで○）

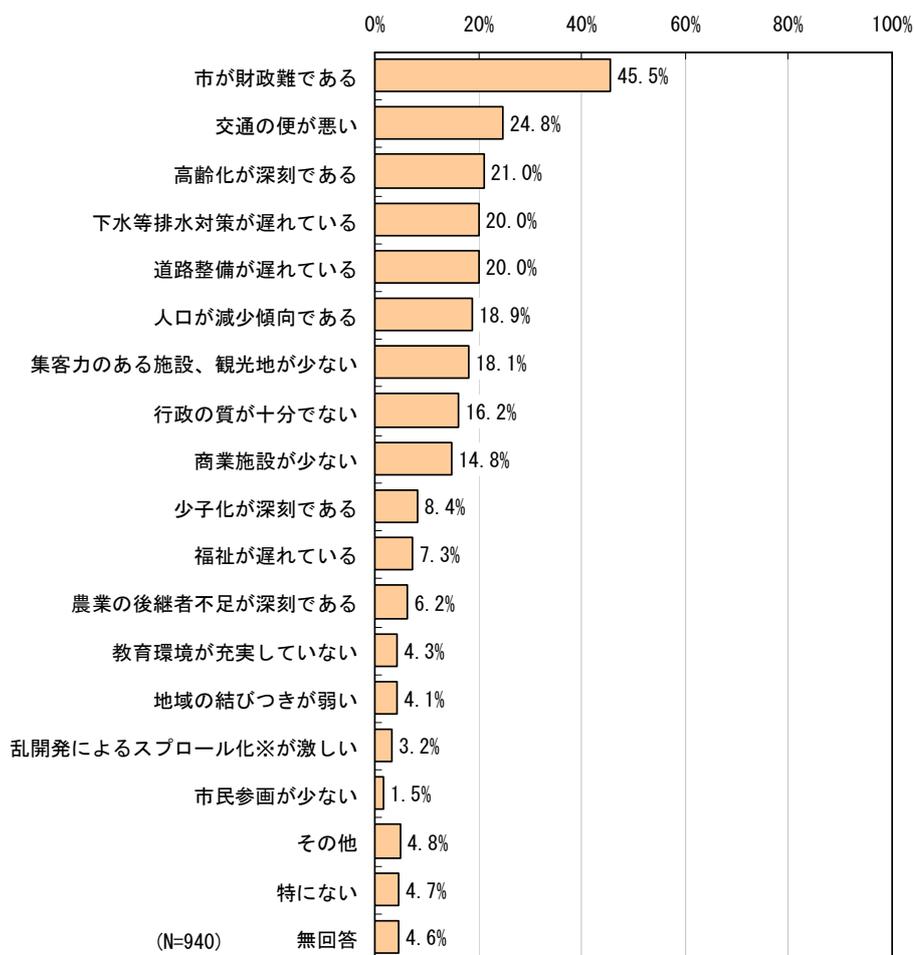
「市が財政難である」が 45.5%と多い

「市が財政難である」が 45.5%と最も多く、次いで「交通の便が悪い」が 24.8%、「高齢化が深刻である」が 21.0%となっています。

年齢別を見ると、最も回答が多いのは、10歳代を除き「市が財政難である」となっています。

地区別を見ると、最も回答が多いのは、栄地区では「高齢化が深刻である」、それ以外の地区では「市が財政難である」となっています。

【全体】



問 17 行政施策の満足度について、おたずねします。(ア～ミにつき、それぞれ1つに○)

満足度の1位は「ごみ、し尿処理」が48.7%

行政施策の満足度については、「ごみ、し尿処理」が48.7%と最も多く、次いで「公園・緑地整備」の順となっています。

【全体】

		回答者数	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない	無回答	合計
交通安全対策	人数	940	22	317	254	107	135	105	940
	構成比		2.3%	33.7%	27.0%	11.4%	14.4%	11.2%	100.0%
公園・緑地整備	人数	940	59	362	200	115	98	106	940
	構成比		6.3%	38.5%	21.3%	12.2%	10.4%	11.3%	100.0%
河川・排水路整備	人数	940	13	219	258	177	157	116	940
	構成比		1.4%	23.3%	27.4%	18.8%	16.7%	12.3%	100.0%
防犯対策	人数	940	20	328	209	101	174	108	940
	構成比		2.1%	34.9%	22.2%	10.7%	18.5%	11.5%	100.0%
災害対策	人数	940	20	264	211	95	227	123	940
	構成比		2.1%	28.1%	22.4%	10.1%	24.1%	13.1%	100.0%
ごみ・し尿処理	人数	940	67	391	177	107	105	93	940
	構成比		7.1%	41.6%	18.8%	11.4%	11.2%	9.9%	100.0%
健康づくり	人数	940	36	374	133	24	259	114	940
	構成比		3.8%	39.8%	14.1%	2.6%	27.6%	12.1%	100.0%
医療施設・医療体制	人数	940	35	274	264	175	104	88	940
	構成比		3.7%	29.1%	28.1%	18.6%	11.1%	9.4%	100.0%
障害者福祉	人数	940	13	180	167	64	412	104	940
	構成比		1.4%	19.1%	17.8%	6.8%	43.8%	11.1%	100.0%
高齢者福祉	人数	940	15	185	198	93	349	100	940
	構成比		1.6%	19.7%	21.1%	9.9%	37.1%	10.6%	100.0%
地域福祉	人数	940	11	163	190	61	407	108	940
	構成比		1.2%	17.3%	20.2%	6.5%	43.3%	11.5%	100.0%
子育て支援	人数	940	24	178	148	79	392	119	940
	構成比		2.6%	18.9%	15.7%	8.4%	41.7%	12.7%	100.0%
道路整備	人数	940	19	207	290	266	70	88	940
	構成比		2.0%	22.0%	30.9%	28.3%	7.4%	9.4%	100.0%
公共交通	人数	940	13	217	293	212	105	100	940
	構成比		1.4%	23.1%	31.2%	22.6%	11.2%	10.8%	100.0%
市街地整備	人数	940	11	172	281	216	157	103	940
	構成比		1.2%	18.3%	29.9%	23.0%	16.7%	11.0%	100.0%
公共下水道	人数	940	39	227	219	192	164	99	940
	構成比		4.1%	24.1%	23.3%	20.4%	17.4%	10.5%	100.0%
計画的な土地利用	人数	940	4	107	227	208	288	106	940
	構成比		0.4%	11.4%	24.1%	22.1%	30.6%	11.3%	100.0%
都市景観	人数	940	11	214	252	149	201	113	940
	構成比		1.2%	22.8%	26.8%	15.9%	21.4%	12.0%	100.0%
農業振興	人数	940	9	131	165	56	474	105	940
	構成比		1.0%	13.9%	17.6%	6.0%	50.4%	11.2%	100.0%
商業振興	人数	940	6	109	221	158	346	100	940
	構成比		0.6%	11.6%	23.5%	16.8%	36.8%	10.6%	100.0%
工業振興	人数	940	8	111	152	135	425	109	940
	構成比		0.9%	11.8%	16.2%	14.4%	45.2%	11.6%	100.0%
観光振興	人数	940	25	241	185	116	266	107	940
	構成比		2.7%	25.6%	19.7%	12.3%	28.3%	11.4%	100.0%
消費生活行政	人数	940	10	126	192	104	407	101	940
	構成比		1.1%	13.4%	20.4%	11.1%	43.3%	10.7%	100.0%
学校教育	人数	940	14	242	142	88	353	101	940
	構成比		1.5%	25.7%	15.1%	9.4%	37.6%	10.7%	100.0%
生涯学習	人数	940	14	240	146	68	375	97	940
	構成比		1.5%	25.5%	15.5%	7.2%	39.9%	10.3%	100.0%
スポーツ・レクリエーション	人数	940	22	314	136	44	328	96	940
	構成比		2.3%	33.4%	14.5%	4.7%	34.9%	10.2%	100.0%
青少年健全育成	人数	940	9	203	118	62	447	101	940
	構成比		1.0%	21.6%	12.6%	6.6%	47.6%	10.7%	100.0%
男女共同参画	人数	940	9	159	104	32	531	105	940
	構成比		1.0%	16.9%	11.1%	3.4%	56.5%	11.2%	100.0%
協働・市民参画	人数	940	7	165	121	30	505	112	940
	構成比		0.7%	17.6%	12.9%	3.2%	53.7%	11.9%	100.0%
広報・広聴活動	人数	940	23	298	140	48	328	103	940
	構成比		2.4%	31.7%	14.9%	5.1%	34.9%	11.0%	100.0%
行政の電子化	人数	940	10	193	134	64	437	102	940
	構成比		1.1%	20.5%	14.3%	6.8%	46.5%	10.9%	100.0%
行政運営	人数	940	5	143	174	113	413	92	940
	構成比		0.5%	15.2%	18.5%	12.0%	43.9%	9.8%	100.0%

1位：白文字、2位：太文字

【満足度の高い順】（満足+どちらかといえば満足）の割合の高い項目

	項目	割合
1	ごみ・し尿処理	48.7%
2	公園・緑地整備	44.8%
3	健康づくり	43.6%
4	防犯対策	37.0%
5	交通安全対策	36.1%
6	スポーツ・レクリエーション	35.7%
7	広報・広聴活動	34.1%
8	医療施設・医療体制	32.9%
9	災害対策	30.2%
10	観光振興	28.3%

【満足度の低い順】（不満+どちらかといえば不満）の割合の高い項目

	項目	割合
1	道路整備	59.1%
2	公共交通	53.7%
3	市街地整備	52.9%
4	医療施設・医療体制	46.7%
5	計画的な土地利用	46.3%
6	河川・排水路整備	46.3%
7	公共下水道	43.7%
8	都市景観	42.7%
9	商業振興	40.3%
10	交通安全対策	38.4%

問 18 行政施策の重要度について、おたずねします。(ア～ミにつき、それぞれ1つに○)

重要度の1位は「医療施設・医療体制」が85.1%

行政施策の重要度については、「医療施設・医療体制」が85.1%と最も多く、次いで「防犯対策」の順となっています。

【全体】

		回答者数	重要	どちらかといえは重要	どちらかといえは重要でない	重要でない	わからない	無回答	合計
交通安全対策	人数	940	339	416	31	3	35	116	940
	構成比		36.1%	44.3%	3.3%	0.3%	3.7%	12.3%	100.0%
公園・緑地整備	人数	940	176	465	121	14	43	121	940
	構成比		18.7%	49.5%	12.9%	1.5%	4.6%	12.9%	100.0%
河川・排水路整備	人数	940	310	430	36	9	44	111	940
	構成比		33.0%	45.7%	3.8%	1.0%	4.7%	11.8%	100.0%
防犯対策	人数	940	423	356	19	1	26	115	940
	構成比		45.0%	37.9%	2.0%	0.1%	2.8%	12.2%	100.0%
災害対策	人数	940	464	308	18	4	30	116	940
	構成比		49.4%	32.8%	1.9%	0.4%	3.2%	12.3%	100.0%
ごみ・し尿処理	人数	940	339	410	32	3	39	117	940
	構成比		36.1%	43.6%	3.4%	0.3%	4.1%	12.4%	100.0%
健康づくり	人数	940	198	432	110	21	52	127	940
	構成比		21.1%	46.0%	11.7%	2.2%	5.5%	13.5%	100.0%
医療施設・医療体制	人数	940	529	271	14	4	24	98	940
	構成比		56.3%	28.8%	1.5%	0.4%	2.6%	10.4%	100.0%
障害者福祉	人数	940	322	376	38	8	82	114	940
	構成比		34.3%	40.0%	4.0%	0.9%	8.7%	12.1%	100.0%
高齢者福祉	人数	940	392	357	33	7	55	96	940
	構成比		41.7%	38.0%	3.5%	0.7%	5.9%	10.2%	100.0%
地域福祉	人数	940	268	401	54	7	91	119	940
	構成比		28.5%	42.7%	5.7%	0.7%	9.7%	12.7%	100.0%
子育て支援	人数	940	359	323	53	7	84	114	940
	構成比		38.2%	34.4%	5.6%	0.7%	8.9%	12.1%	100.0%
道路整備	人数	940	391	332	61	12	33	111	940
	構成比		41.6%	35.3%	6.5%	1.3%	3.5%	11.8%	100.0%
公共交通	人数	940	305	396	62	13	47	117	940
	構成比		32.4%	42.1%	6.6%	1.4%	5.0%	12.4%	100.0%
市街地整備	人数	940	256	409	79	16	61	119	940
	構成比		27.2%	43.5%	8.4%	1.7%	6.5%	12.7%	100.0%
公共下水道	人数	940	327	380	58	8	58	109	940
	構成比		34.8%	40.4%	6.2%	0.9%	6.2%	11.6%	100.0%
計画的な土地利用	人数	940	286	360	68	18	95	113	940
	構成比		30.4%	38.3%	7.2%	1.9%	10.1%	12.0%	100.0%
都市景観	人数	940	167	373	152	24	99	125	940
	構成比		17.8%	39.7%	16.2%	2.6%	10.5%	13.3%	100.0%
農業振興	人数	940	161	363	74	20	202	120	940
	構成比		17.1%	38.6%	7.9%	2.1%	21.5%	12.8%	100.0%
商業振興	人数	940	220	381	49	10	163	117	940
	構成比		23.4%	40.5%	5.2%	1.1%	17.3%	12.4%	100.0%
工業振興	人数	940	195	374	66	11	174	120	940
	構成比		20.7%	39.8%	7.0%	1.2%	18.5%	12.8%	100.0%
観光振興	人数	940	187	381	105	20	130	117	940
	構成比		19.9%	40.5%	11.2%	2.1%	13.8%	12.4%	100.0%
消費生活行政	人数	940	175	380	79	10	174	122	940
	構成比		18.6%	40.4%	8.4%	1.1%	18.5%	13.0%	100.0%
学校教育	人数	940	456	261	18	5	92	108	940
	構成比		48.5%	27.8%	1.9%	0.5%	9.8%	11.5%	100.0%
生涯学習	人数	940	196	377	105	25	120	117	940
	構成比		20.9%	40.1%	11.2%	2.7%	12.8%	12.4%	100.0%
スポーツ・レクリエーション	人数	940	115	408	160	26	116	115	940
	構成比		12.2%	43.4%	17.0%	2.8%	12.3%	12.2%	100.0%
青少年健全育成	人数	940	220	379	72	18	134	117	940
	構成比		23.4%	40.3%	7.7%	1.9%	14.3%	12.4%	100.0%
男女共同参画	人数	940	87	314	155	37	225	122	940
	構成比		9.3%	33.4%	16.5%	3.9%	23.9%	13.0%	100.0%
協働・市民参画	人数	940	79	331	154	24	232	120	940
	構成比		8.4%	35.2%	16.4%	2.6%	24.7%	12.8%	100.0%
広報・広聴活動	人数	940	127	415	101	17	161	119	940
	構成比		13.5%	44.1%	10.7%	1.8%	17.1%	12.7%	100.0%
行政の電子化	人数	940	113	346	122	33	208	118	940
	構成比		12.0%	36.8%	13.0%	3.5%	22.1%	12.6%	100.0%
行政運営	人数	940	272	316	52	11	184	105	940
	構成比		28.9%	33.6%	5.5%	1.2%	19.6%	11.2%	100.0%

1位：白文字、2位：太文字

【重要度の高い順】（重要+どちらかといえば重要）の割合の高い項目

	項目	割合
1	医療施設・医療体制	85.1%
2	防犯対策	82.9%
3	災害対策	82.1%
4	交通安全対策	80.3%
5	ごみ・し尿処理	79.7%
6	高齢者福祉	79.7%
7	河川・排水路整備	78.7%
8	道路整備	76.9%
9	学校教育	76.3%
10	公共下水道	75.2%

【重要度の高い順】（重要のみ）の割合の高い項目

	項目	割合
1	医療施設・医療体制	56.3%
2	災害対策	49.4%
3	学校教育	48.5%
4	防犯対策	45.0%
5	高齢者福祉	41.7%
6	道路整備	41.6%
7	子育て支援	38.2%
8	ごみ・し尿処理	36.1%
9	交通安全対策	36.1%
10	公共下水道	34.8%

## (6) 災害時の対応について、おたずねします

問 19 あなたは、災害が起こった際の連絡方法や集合場所等について、家族や親族などと決めていますか。(1つに○)

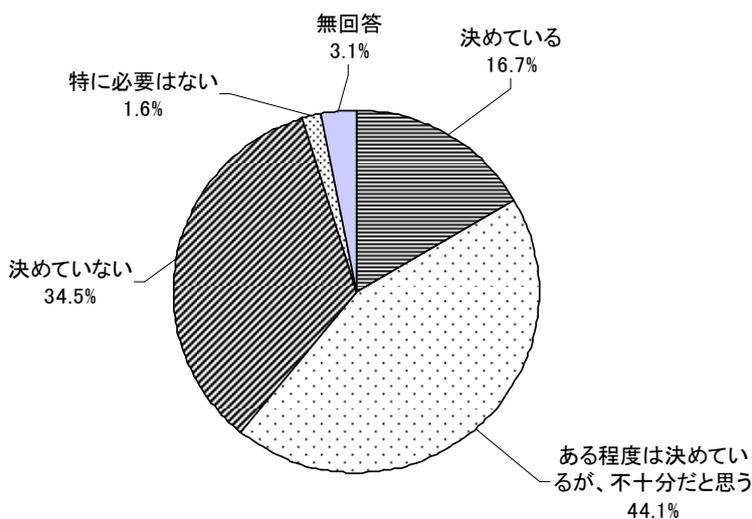
「ある程度は決めているが、不十分だと思う」が44.1%と多い

「ある程度は決めているが、不十分だと思う」が44.1%と最も多く、次いで「決めていない」が34.5%、「決めている」が16.7%となっています。

年齢別を見ると、ほとんどの年代では「ある程度は決めているが、不十分だと思う」が最も多くなっています。低い年代では「決めていない」と回答した人の割合が多い傾向にあります。

地区別を見ると、権現堂川地区、八代地区及び栄地区では「決めていない」が最も多くなっていることが特徴です。

### 【全体】



(N=940)

問 20 あなたの家族に、災害時に避難が必要になった際、自分の力では避難ができない要  
援護者（高齢者・障害者など）はいますか。（1つに○）

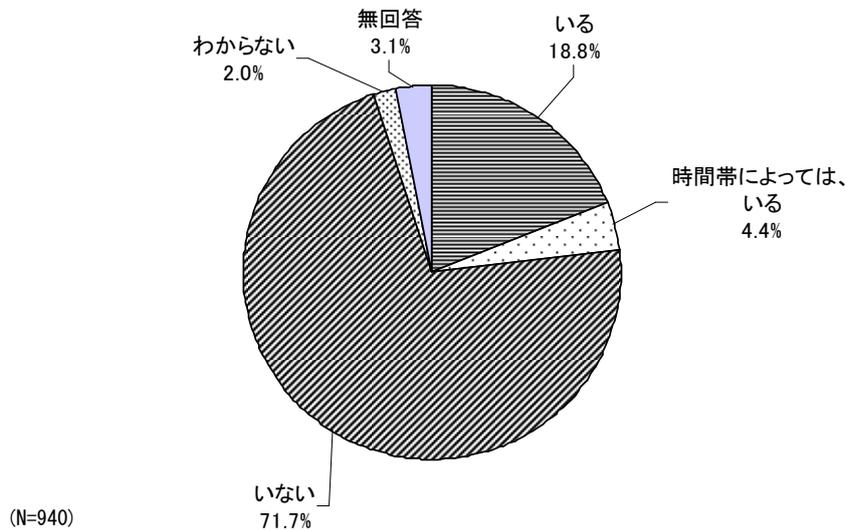
「いない」が71.7%と多い

「いない」が71.7%と最も多く、次いで「いる」が18.8%、「時間帯によっては、い  
る」が4.4%となっています。

年齢別を見ると、いずれの年代も「いない」が最も多く、40歳代、50歳代及び70  
歳代以上では2割以上が「いる」と回答しています。

地区別を見ると、いずれにおいても「いない」が最も多く、権現堂川地区、吉田地区  
及び八代地区では、3割以上が「いる」又は「時間帯によっては、いる」と回答してい  
ます。

【全体】



問 21 問 20 で「1」「2」に回答した方におたずねします。

災害発生時に、要援護者の避難を手伝ってくれる人がいますか。(1つに○)

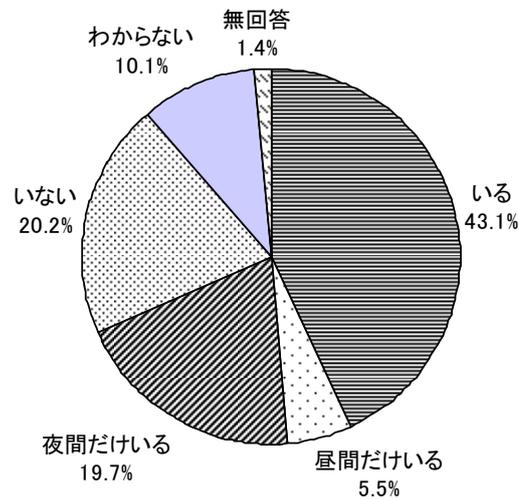
「いる」が 43.1% と多い

「いる」が 43.1% と最も多く、次いで「いない」が 20.2%、「夜間だけいる」が 19.7% となっています。

年齢別を見ると、40 歳代で「いない」が最も多くなっています。

地区別を見ると、すべての居住地で「いる」が最も多くなっていますが、八代地区では 57.9% であるのに対して、幸手東・緑台地区では 33.3% と、地域によって差が見られます。

【全体】



(N=218)

## (7) 行財政運営について、おたずねします

問 22 行財政運営の改善に向けて必要だと思うものは何ですか。(2つまで〇)

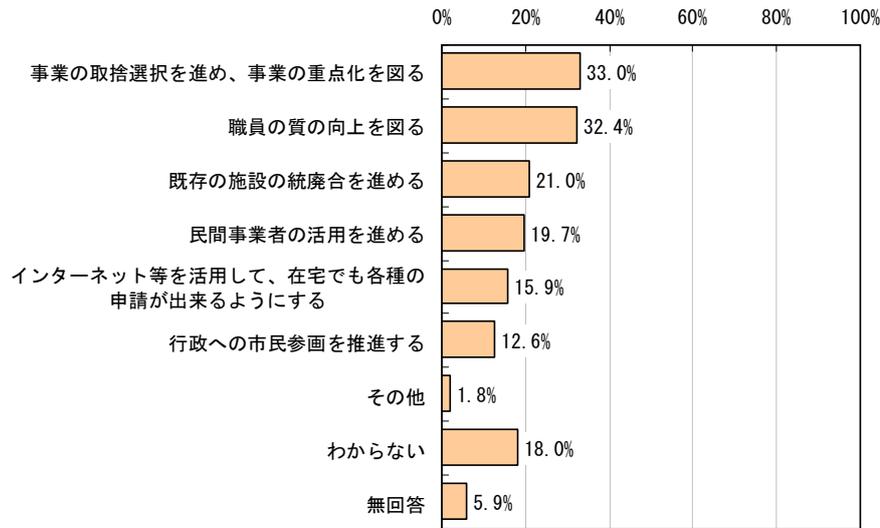
**「事業の取捨選択を進め、事業の重点化を図る」が 33.0%と多い**

「事業の取捨選択を進め、事業の重点化を図る」が 33.0%と最も多く、次いで「職員の質の向上を図る」が 32.4%、「既存の施設の統廃合を進める」が 21.0%となっています。

年齢別を見ると、低い年代では「インターネット等の活用」と回答した人の割合が多い傾向にあります。

地区別を見ると、権現堂川地区では「既存の施設の統廃合を進める」が最も多くなっていることが特徴です。

### 【全体】



(N=940)

問 23 市民の負担と行政サービスとの関係はどのようにお考えですか。(1つに○)

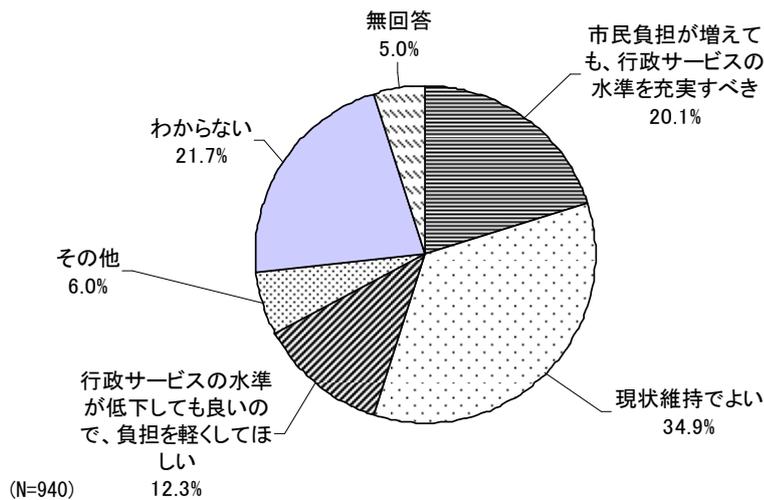
「現状維持でよい」が 34.9%と多い

「現状維持でよい」が 34.9%と最も多く、次いで「わからない」が 21.7%、「市民負担が増えても、行政サービスの水準を充実すべき」が 20.1%となっています。

年齢別を見ると、いずれの年代も「現状維持でよい」が最も多くなっていますが、高い年代では「市民負担が増えても、行政サービスの水準を充実すべき」と回答した人の割合が多い傾向にあります。

地区別を見ると、いずれにおいても「現状維持でよい」が最も多くなっていますが、権現堂川地区、香日向地区では 40.0%であるのに対して、栄地区では 28.2%と、地域によって差が見られます。

【全体】



問 24 行政へ市民が参画することについてどのようにお考えですか。(1つに○)

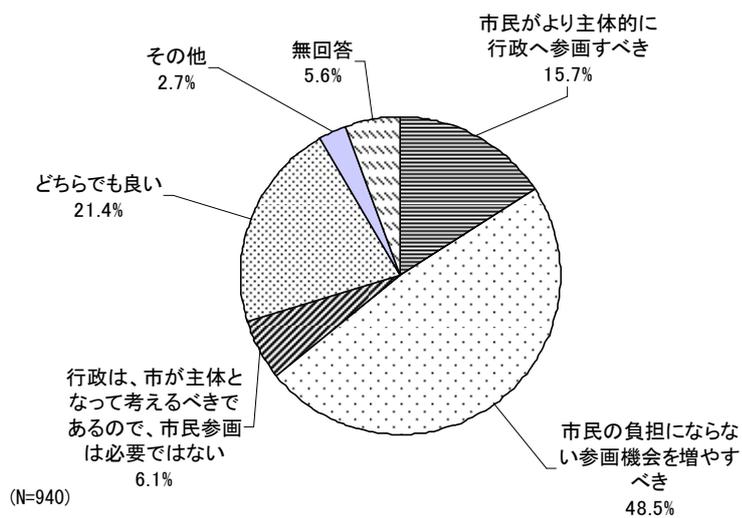
**「市民の負担にならない参画機会を増やすべき」が48.5%と多い**

「市民の負担にならない参画機会を増やすべき」が48.5%と最も多く、次いで「どちらでも良い」が21.4%、「市民がより主体的に行政へ参画すべき」が15.7%となっています。

年齢別を見ると、いずれの年代も「市民の負担にならない参画機会を増やすべき」が最も多くなっていますが、低い年代では「どちらでも良い」と回答した人の割合が多い傾向にあります。

地区別を見ると、いずれにおいても「市民の負担にならない参画機会を増やすべき」が最も多くなっていますが、八代地区及び香日向地区では2割以上が「市民がより主体的に行政へ参画すべき」と回答しています。

**【全体】**



問 25 あなたは、行政への参加（市民会議やタウンミーティングなど）について、どのよう  
にお考えですか。（1つに〇）

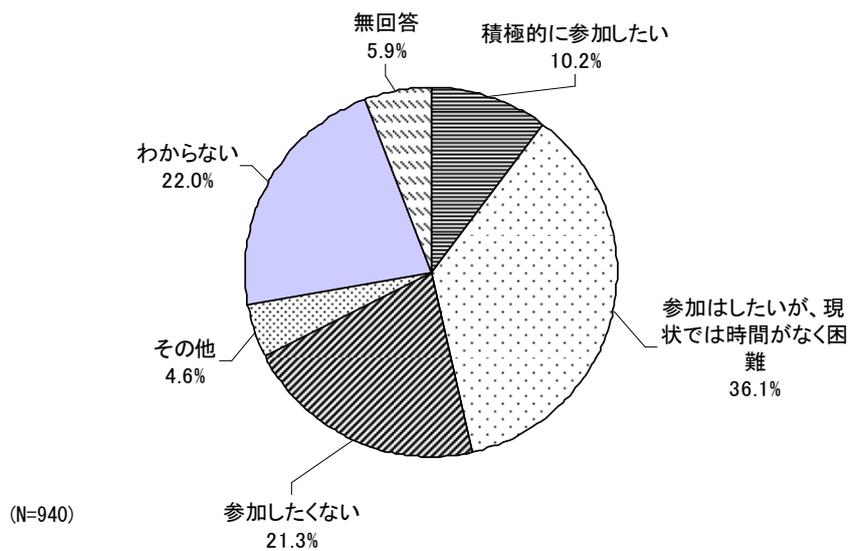
**「参加はしたいが、現状では時間がなく困難」が 36.1%と多い**

「参加はしたいが、現状では時間がなく困難」が 36.1%と最も多く、次いで「わからない」が 22.0%、「参加したくない」が 21.3%となっています。

年齢別を見ると、いずれの年代も「参加はしたいが、現状では時間がなく困難」（10歳代から 20歳代では「参加したくない」も同率 1位）が最も多くなっていますが、低い年代では「参加したくない」と回答した割合が多い傾向にあります。

地区別を見ると、栄地区を除き、「参加はしたいが、現状では時間がなく困難」が最も多くなっています。

**【全体】**



問 26 今後、重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。(3つまで○)

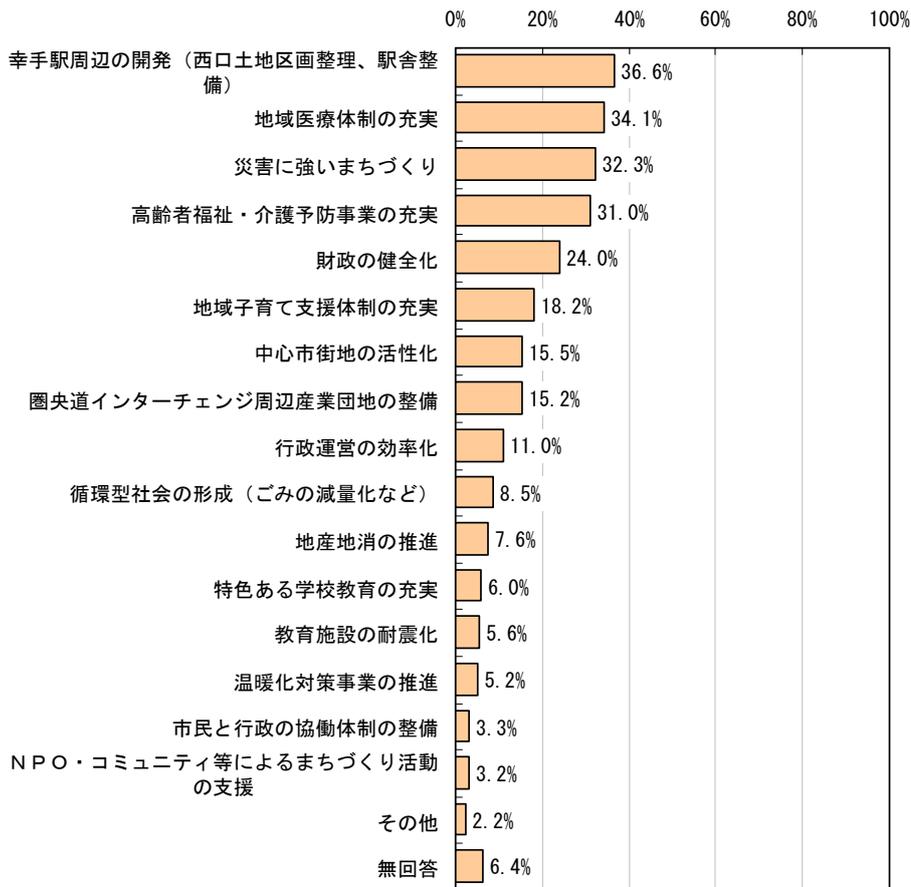
**「幸手駅周辺の開発」が 36.6%と多い**

「幸手駅周辺の開発（西口土地区画整理、駅舎整備）」が 36.6%と最も多く、次いで「地域医療体制の充実」が 34.1%、「災害に強いまちづくり」が 32.3%となっています。

年齢別を見ると、30 歳代では「地域子育て支援体制の充実」、40 歳代では「地域医療体制の充実」、60 歳代及び 70 歳代では「高齢者福祉・介護予防事業の充実」が最も多くなっていることが特徴です。

地区別を見ると、吉田地区、幸手東・緑台地区では「災害に強いまちづくり」、権現堂川地区と香日向地区では「地域医療体制の充実」、八代地区、栄地区では「高齢者福祉・介護予防事業の充実」が最も多くなっています。

**【全体】**



(N=940)

